

楽天株式会社

第17期 株主通信

2013年1月1日～2013年12月31日

楽<sup>®</sup>天

<sup>®</sup>Rakuten

トップメッセージ

# Getting Faster 次のステージへ。

私たちは「世界一のインターネットサービス企業」を目指し、1997年の創業以来、独自のビジネスモデルを構築してまいりました。

楽天は、出店店舗と消費者をつなぐ、世界的にもユニークなB2B2C(Business to Business to Consumer)型のマーケットプレイス「楽天市場」を主力とするEC(電子商取引)のほか、オンライン総合旅行サイトの「楽天トラベル」、ECとの親和性が高い「楽天カード」、日本最大級のネットバンク「楽天銀行」、幅広い商品と便利なトレーディングツールを提供する「楽天証券」など多岐にわたる事業を展開し、ネット上でワンストップのサービスを提供する「楽天経済圏」を実現しています。また、革新的なビデオストリーミングサービスをグローバルに展開するVikiが新規にグループ入りし、電子書籍サービス「楽天Kobo」を含むデジタルコンテンツ事業を中核事業の一つとして新たに位置づけました。



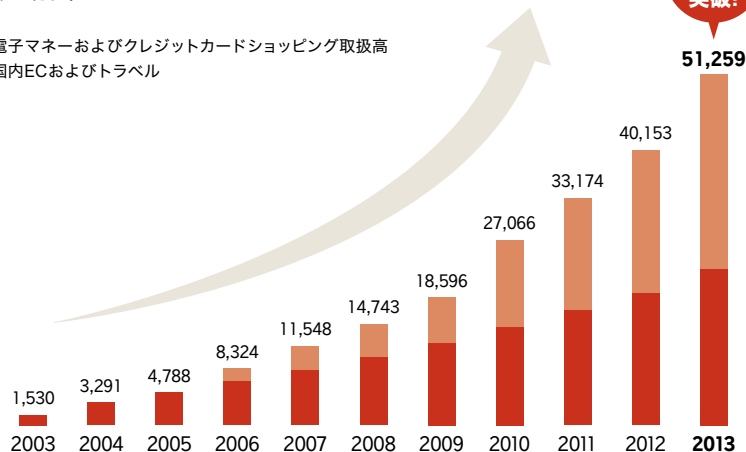
三木谷浩史

代表取締役会長兼社長  
三木谷 浩史

## 国内 流通総額の推移

(単位：億円)

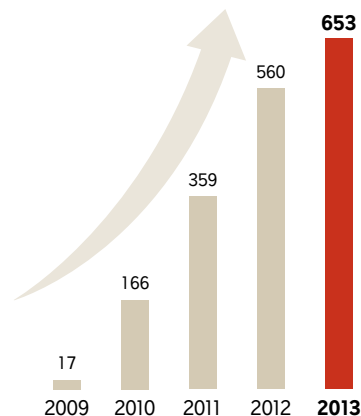
- 電子マネーおよびクレジットカードショッピング取扱高
- 国内ECおよびトラベル



## 海外 マーケットプレイス型

### EC流通総額の推移\*

(単位：億円)



※ 為替調整後

# 楽天の新たな成長ステージが始まります。

2013年、東北楽天ゴールデンイーグルスは、球団創設9年目にして初めてプロ野球日本一に輝きました。その効果による楽天ブランドの浸透に加え、ECユーザの利用が活発になったことで、年間の国内流通総額は5.1兆円に達しています。さらなるブランド価値向上と投資家層の拡大を図るため、楽天は、2013年12月にJASDAQから東証一部へ上場市場を変更し、同時に、スポンサー付き米国預託証券(ADR)を設立しました。プロ野球での初優勝と東証一部上場は、ひとえに株主の皆さまを始め、当社グループをご支援くださる皆さまのお力添えによる賜物です。皆さまへの感謝の意を込めて、記念配当の実施と株主優待制度の導入を決定しました。

2014年以降は、従来の枠を超えた社会の変化が世界的に予想され、特にインターネットは、いつでも、どこでも利用できるクラウドやスマートデバイスの普及により、社会のインフラとしての重要性が増していくものと思います。インターネット産業の加速度的な進화가予測される2014年からの新たな成長ステージと位置づけ、EC・金融・デジタルコンテンツの3事業を柱にワールドワイドな「楽天経済圏」の構築に取り組んでまいります。

「人々と社会をエンパワーメントする」企業グループとして、ユーザがさらに楽しめる、安心して安全なインターネットサービスの提供と、持続的な成長を図ることで企業価値・株主価値の向上に努めてまいります。

# 楽天経済圏

楽天経済圏は、日本最大のインターネットショッピングモール楽天市場を中心とする「EC」、クレジットカード・銀行・証券などの「金融」、電子書籍・動画配信サービスなどを提供する「デジタルコンテンツ」、これら3つの事業をベースに、日本で最も人気が高いポイントプログラム「楽天スーパーポイント」を通じて、顧客(楽天会員)の流入拡大、経済圏内でのサービス利用や回遊性を促進するビジネスモデルです。

また、プロ野球優勝直後に開催された楽天市場での優勝セールや、楽天市場を始めとするグループサービスの決済を円滑にする金融サービス、「Wuaki.tv」を活用したECの展開など、グループ連携したサービスによりシナジー効果を発揮し、各事業間の垣根を超えたメンバーシップの獲得により、事業プラットフォームを広げています。

また楽天グループは、ECや電子書籍、デジタルコンテンツを中心にさまざまな事業のグローバル展開を加速しており、シナジー効果の高いグローバル経営体制の構築を進めることで楽天経済圏を世界に拡大します。

## 1 EC

「楽天市場」、総合旅行サイト「楽天トラベル」、  
「楽天物流」、海外における「楽天市場」の展開 など。

## 2 金融

クレジットカード「楽天カード」、インターネット  
専業銀行「楽天銀行」、オンライン証券「楽天証券」、  
生命保険「楽天生命」など。

## 3 デジタルコンテンツ

電子書籍「Kobo」、動画配信サービス「Wuaki.tv」、  
ビデオ・音楽ストリーミングサイト「Viki」など。





## 1 EC

# 楽天ブランドが浸透。

楽天市場のセールやイベント、  
カスタマー向けサービスに注力し、日本で世界で  
ワクワクするショッピング体験を！

E-Commerce ハイライト

楽天会員

↑ 10.0%UP  
(前期比)

8,976 万人

過去最高 1.7 兆円 ↑

国内EC流通総額

海外  
マーケットプレイス  
流通総額

(為替調整後)

↑ 16.7% UP!  
(前期比)

楽天市場は、国内トップWebブランド(日経BPコンサルティング調査)に3年連続で選ばれました。楽天ブランドの浸透とともに、国内EC市場シェアを拡大し、その地位はますます強固なものになっています。

さらに東北楽天ゴールデンイーグルスのリーグ初優勝を記念した「楽天優勝セール」、日本シリーズ優勝を記念した「楽天日本一セール」が、楽天市場の新規利用者獲得に大きく貢献しました。

楽天市場を含む年間国内EC流通総額は、過去最高となる1.7兆円に達しています。一方で、継続的な出店店舗の支援体制により出店店舗数も安定的にのびています。数だけではなく、モールの質を高めるために、全国4万1千店の出店店舗と一体となって、安心・安全なプレミアムモールの提供を目指してまいります。

海外EC事業では、マーケットプレイス型にビジネスモデルを変更したことで好調に推移し、海外EC流通総額は前期比16.7%(為替調整後)増の653億円となりました。

さらに、物流サービスでは「楽天スーパーロジ」の導入により、イベントやセール時の物流量の平準化を始めとした出店店舗の物流効率化およびコスト削減が実現可能になりました。安心・安全への取り組みを再強化し、ユーザが楽しく便利にお買い物できる環境を整えることで楽天市場はさらなる成長を目指します。



## 2 金融

# グループ連携が加速。

ショッピングから資産運用まで。  
シナジーを活かした快適で、  
**お得な決済サービスが好評！**

### Finance ハイライト

楽天カードショッピング  
取扱高

**2.6**兆円  
↑  
(前期比 42.0% UP)

楽天スマートペイ  
クレジットカードの

主要 **6** 国際ブランド  
に対応

楽天証券 営業利益

**6.3**倍!  
↑  
(前期比)

金融サービス事業では、グループの相乗効果を通じたサービスを充実させ、お客さまのライフスタイルを支援しています。

楽天スーパーポイントがネットでもリアルでも貯められる楽天カードは、クレジットカード部門で顧客満足度5年連続第1位\*を獲得しており、ショッピング取扱高は前期比42.0%成長し、2.6兆円に拡大しました。

また、スマートフォンやタブレットでクレジットカード決済が利用できる「楽天スマートペイ」は、VisaやMasterCardに加えJCBなど、クレジットカードの主要6国際ブランドに対応し、店舗や宅配、屋外イベントなどさまざまなシーンで、お客さまにとって快適な決済手段を提供しています。

インターネット専門銀行で国内最大の口座数を保有する楽天銀行では、個人向け海外送金サービスを開始したほか、金利選択型住宅ローンを新たに開始するなど、利便性がますます向上しています。預金残高も順調に増加し、1兆円を突破しました。

楽天証券では、アベノミクスの追い風を受けた株式市況が活況で、過去最高収益を記録しました。

楽天生命として新たにスタートした生命保険事業は、契約数が順調に拡大しています。

決済の利便性向上やグループ連携により、金融サービス事業は加速度的に成長しています。

※ サービス産業生産性協議会 2013年度JCSI(日本版顧客満足度指数)



### 3 デジタルコンテンツ

# 成長の新たな軸へ。

魅力的な電子書籍とコンテンツと、  
革新的な動画配信Vikiのグループ入りで、  
グローバル化を加速！

#### Digital Contents ハイライト

#### Kobo ユーザー数

1,800万人!  
(2013年12月末現在)

#### Kobo コンテンツ収益

42%UP  
(前相比)



2,800万人!  
(2013年12月末現在)

#### Viki ユーザー数

楽天ビジネスモデルの新たな軸となるデジタルコンテンツ事業では、電子書籍サービス「Kobo」、動画配信サービス「Wuaki.tv」、ビデオストリーミングサービス「Viki」などが世界的に事業を展開しています。

電子書籍サービスを世界で展開する「Kobo」は、タブレット「Kobo Arc 7HD」をマルチプラットフォーム戦略の一環として日本での発売を開始しました。

また、「楽天ブックス」内に「楽天Kobo電子書籍ストア powered by 楽天ブックス」を開設し、電子書籍の販売を強化しました。同ストアでは、電子書籍のまとめ買いやシリーズ一括購入機能を追加したほか、書籍ジャンルの見直し、検索機能の強化、スマートフォンへの最適化を行い、より使いやすい仕様になりました。

スペインの動画配信事業を行う「Wuaki.tv」では、英ECサイト「Play.com」との協業が始まるなど、海外でもグループ間のシナジー創出に取り組んでいます。さらには、EC・金融・デジタルコンテンツを楽天スーパーポイントで統合し、グローバルな「楽天経済圏」の拡大を目指します。

新たにグループ入りしたVikiは、世界各国のテレビ番組や映画などの著作権取得済みコンテンツに世界中のファンがボランティアで字幕を付けて配信する、ユニークなサービスを提供しています。世界での月間視聴者数は2,800万人を超え、字幕翻訳された単語数は4億ワード以上に達します。独自の方法で幅広い視聴者に人気のエンターテインメントを配信するとともに、コンテンツオーナーに対しては新たな市場の開拓機会を提供しています。

CSRへの取り組み

# プロ野球チームを通して、 日本を、東北を元気に。



## 日本一を東北に

東北楽天ゴールデンイーグルスは、球団創設9年目にして初めて日本一の栄冠を手にし、「日本一を東北に」を合言葉に選手とファンの気持ちが一つになって東北の夢が叶いました。東日本大震災の際にファンへ誓った「見せましょう。東北の力を。見せましょう。野球の底力を」という選手会長嶋選手の言葉は3年で実現されました。

## 東北に根ざしたプロ野球チームを

宮城県を本拠地として球団を創設したのは2004年のことでした。地元との密接な関係を育むため、チーム名に「東北」の2文字を掲げました。現在では、ファンがスタンドで歌う応援歌には、チームのことを「東北ゴールデンイーグルス」と、東北を強調した歌があるほど地元密着のチームになりました。

## 東日本大震災と 津波を経験して深まった絆

選手たちは被災地を見舞い、現地を目の当たりにしたことで、東北の人々のためにプレーしよう、被災の痛手から立ち直る力になろう、という決意のもと、ユニフォームの左袖に「がんばろう東北」のワッペンを縫いつけて戦い続けました。

## 楽天イーグルス優勝パレード

優勝パレードは、「東北の皆さんが後押ししてくれたことに感謝したい」と、星野監督の力のこもった挨拶で始まり、埋め尽くされた沿道からは盛大な拍手が湧き上がり、集まっていた約21万4千人のファンから、大きな声援を送っていただきました。



# 楽天のCSR



これからの  
未来のために



本業を通じて  
お役に立つために



環境に配慮し  
無駄を省くために



人と環境にやさしい  
エネルギーのために

## 人と社会をエンパワーメントする企業を目指して

楽天は創業以来、インターネットの特徴である「公平性」を重んじ、人と社会に豊かさを提供することを、社会的な使命と考えて事業を展開しています。楽天のCSRは、お客さまや取引先などの皆さまと連携することにより、事業を通じて社会の課題に応える活動を実践しています。引き続き、この楽天らしいCSRで、社会の期待に一層応えとともに、さまざまなステークホルダーと関わりながら、CSR活動を展開してまいります。

## 福島県475名の子供たちによる「楽天子ども音楽祭」

楽天は東京フィルハーモニーオーケストラのオフィシャルサプライヤーをつとめていることから、音楽振興を行っています。「楽天いどうとしょかん」の運行一周年を記念し、福島県教育委員会、福島市教育委員会のご後援のもと、福島県内の小・中・高校生17団体475名の子供たちの参加による「楽天子ども音楽祭」を2013年12月に開催しました。この音楽祭においては、楽天市場の出店者さまや楽天の各事業と連携し、総勢約1,000名の方々にご来場いただきました。また、2013年7月に東京ドームで開催した「楽天グループデー 楽天ゴールデンイーグルス vs 日本ハムファイターズ戦」では、福島県相馬市立桜丘小学校6年生83名をご招待し、合唱披露を行いました。



「楽天子ども音楽祭」

## 東日本大震災支援の仕組みを海外へ 「楽天たすけ愛：フィリピン台風被災者救援」

楽天市場の出店者さまにご用意いただいた商品をお客さまにご購入いただくことで、被災地にて必要とされる物資を準備し、楽天がその支援物資を被災地に届ける仕組み「楽天たすけ愛」を、海外向けの初めての展開として、2013年に台風30号の被害に遭われたフィリピンの被災地の皆さま向けに行いました。約6,000名のお客さまのご参加により17,194個の物資を用意し、社員向け英語教育で連携している現地企業SMEAG様の協力を得て、楽天スタッフが直接被災地に支援物資をお届けしました。

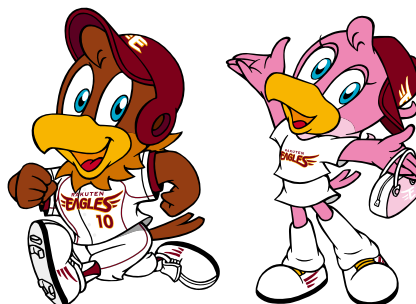


フィリピン台風被災者救援

# 株主優待制度のご案内

楽天では、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社のサービスをより多くの方にご利用いただく機会を提供することを目的として株主優待制度を導入します。

この機会に是非、楽天グループのサービスをご利用ください。



## ～ 第17期株主様ご優待の内容 ～

A～Cの全てにお申込みいただけます。詳細については株主様専用サイトにてご確認ください。

### A

#### 楽天グループのサービスで利用できる RaCoupon(ラ・クーポン)

##### クーポン内容:

- ① 楽天市場でご利用いただける200円のクーポン…… 4枚(総額800円)
- ② 楽天トラベルの国内または海外ツアー「楽バック」※で  
2名様以上のご旅行にご利用いただける6,000円のクーポン…… 1枚
- ③ 楽天Koboの電子書籍購入でご利用いただける  
1,500円のクーポン…… 1枚

**申込期間:** 2014年3月29日(土)～2014年5月12日(月)23時59分

なお、クーポンはお申込み後20日以内に発行します。

**クーポン利用期限:** 2014年6月30日(月)23時59分まで

##### クーポン利用条件:

- ① 楽天市場対象ショップで税込み1,000円以上のお買い物にご利用いただけます。
- ② 楽天トラベルの対象サービスにおいて、2名様以上、2014年9月30日(火)出発分までのご旅行にご利用いただけます。
- ③ 楽天Kobo電子書籍ストア powered by 楽天ブックスで販売されている電子書籍のご購入にご利用いただけます。

※「楽バック」とは、航空券と宿泊を利用者が自由に組み合わせて予約・購入するダイナミックパッケージと呼ばれるバックツアー商品のことです。

### B

#### 株主様限定東北楽天ゴールデンイーグルス グッズを抽選で6名様にプレゼント

**応募期間:** 2014年3月29日(土)～2014年5月12日(月)23時59分

##### 対象賞品:

- 日本一記念選手集合写真(複数選手直筆サイン入り)…… 2名様
- 写真パネル(選手直筆サイン入り)…… 2名様
- コナミ日本シリーズ2013公式球台座付き(選手直筆サイン入り)…… 1名様
- 日本一祝勝会 鏡割りバット  
(サインはございません)…… 1名様



### C

#### 東北楽天ゴールデンイーグルス主催試合の 観戦チケットを優待価格でご提供

**優待内容:** バックネット裏席が前売券販売価格より2割引で2014年シーズン中8枚ご購入いただけます。

**販売期間:** 2014年3月29日(土)～2014年シーズン中

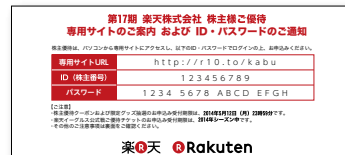
## ～ 株主優待お申込み方法 ～

- A** 楽天グループのサービスで利用できるRaCoupon(ラ・クーポン)
- B** 株主様限定東北楽天ゴールデンイーグルスグッズ
- C** 東北楽天ゴールデンイーグルス主催試合の観戦チケット

### STEP 1

お手元に、本書と同封の「第17期 楽天株式会社 株主様ご優待 専用サイトのご案内およびID・パスワードのご通知」をご準備ください。

※ 画像はイメージです。株主様皆様にそれぞれのID・パスワードをご通知しています。



### STEP 2

**C** パソコンから、インターネットで「株主優待専用サイト」へアクセスしてください。

株主優待専用サイト <http://r10.to/kabu>



こちらにID・パスワードを入力してください。

### STEP 3

**C** イーグルスチケット株主様専用ページより、ご希望の試合を選択し、購入ログインページでID・パスワードをご入力、ログインの上、ご購入ください。

### イーグルスチケット購入ログインページ



こちらにID・パスワードを入力してください。

### STEP 3



### STEP 4

**A** 画面の案内にしたがってお申込みください。



楽天トラベルのクーポンは、お申込み画面で、国内ツアーか海外ツアーのどちらかをお選びいただき、確認画面で「この内容で申し込む」ボタンを押すと応募が完了します。

### STEP 4

**B** 画面の案内にしたがってご応募ください。



ご応募確認画面で「抽選に応募する」ボタンを押すと、応募が完了します。

連結財務ハイライト(国際会計基準(IFRS)に準拠)

## 連結決算のポイント

### 16期連続増収

2013年12月期の連結業績は、売上収益5,186億円(前期比29.5%増)、営業利益902億円(同80.3%増)となりました。

### 国内EC流通総額が前期比19.8%増加

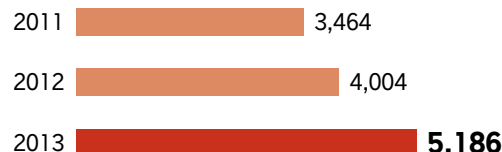
楽天市場などの国内EC流通総額(取扱高)が前期比19.8%増加し、引き続き高い成長が継続しております。

### インターネット金融は利益が大幅に拡大

インターネット金融は、インターネットサービスとのシナジーが顕著である楽天カードを中心に、会員基盤の強化を積極的に推進し、利益が加速度的に拡大しました。

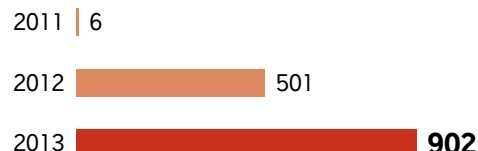
### 連結売上収益

(単位: 億円)



### 連結営業利益

(単位: 億円)



## インターネットサービス

市場事業、トラベル事業、海外EC事業、電子書籍事業、  
その他国内外インターネットサービス

楽天市場では、スマートデバイス向けサービスや大型セールイベント「楽天スーパーSALE」、東北楽天ゴールデンイーグルス初の日本シリーズ優勝を記念したセールの開催などを実施しました。

楽天トラベルでは、レジャー向け販売、レンタカー、外国語サイトからの予約サービスなどの需要が好調に推移しました。

海外EC事業については、マーケットプレイス型サービスに重点を置くとともに、日本で奏功している各種戦略ノウハウを横展開しています。また、電子書籍サービス「Kobo」やビデオストリーミングサービスの新製品および新サービスの提供により、デジタルコンテンツサービスを強化しています。

これらの結果、売上収益は3,152億円(前期比16.6%増)となりました。セグメント利益は、将来成長分野への先行投資を継続しているものの、既存事業からの利益が順調に増加し、475億円(同87.5%増)となりました。

売上収益構成比

**57.1%**

(調整額は除く)

売上収益前期比

**16.6%**

↑UP

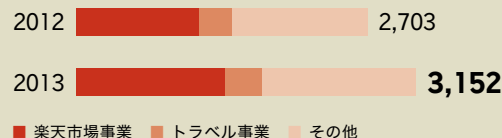
営業利益前期比

**87.5%**

↑UP

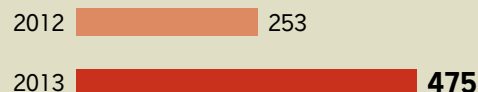
### 売上収益

(単位: 億円)



### セグメント利益

(単位: 億円)



## インターネット金融

クレジットカード事業、銀行事業、証券事業、  
電子マネー事業、保険事業など

楽天カードでは、カード会員の増加に伴い、ショッピング取扱高が前期比42.0%増となりました。ショッピングリボ残高も同33.2%増と順調に積み上がったことにより手数料収入などが増加し、顕著な利益成長が継続しています。

楽天証券においては、株式市場の活性化を背景に、国内株式売買代金が同236.9%増加するなど、売上収益および利益が大幅に増加しました。

楽天銀行においては、楽天会員に対する効果的なマーケティング活動を通じて、ローン残高が堅調に増加したことにより、貸出金利息収益が増加しました。

2013年4月1日付で商号変更した楽天生命では、順調に新規契約を獲得し、保有契約件数をのばしています。

これらの結果、売上収益は2,015億円(前期比59.2%増)となりました。セグメント利益は442億円(同117.8%増)となりました。

売上収益構成比

**36.5%**

(調整額は除く)

売上収益前期比

**59.2%**

↑UP

営業利益前期比

**117.8%**

↑UP

売上収益

(単位：億円)

2012  1,266

2013  **2,015**

■楽天カード事業 ■銀行事業 ■証券事業 ■生命保険事業 ■その他

セグメント利益

(単位：億円)

2012  203

2013  **442**

## その他

通信事業、プロスポーツ事業、  
マリッジ事業

フュージョン・コミュニケーションズにおいては、経営効率化に加え、クラウドサービスや「楽天でんわ」などのスマートフォン向け通話サービスが好調だったことにより、営業利益は堅調に推移しています。

楽天野球団においては、球団創設以来初の日本シリーズ優勝が寄与し、観客動員数が過去最高を記録するとともに、関連グッズの売上が好調でした。

これらの結果、売上収益は357億円(前期比7.4%増)、セグメント利益は38億円(同33.2%増)となりました。

売上収益構成比

**6.4%**

(調整額は除く)

売上収益前期比

**7.4%**

↑UP

営業利益前期比

**33.2%**

↑UP

売上収益

(単位：億円)

2012  333

2013  **357**

セグメント利益

(単位：億円)

2012  28

2013  **38**

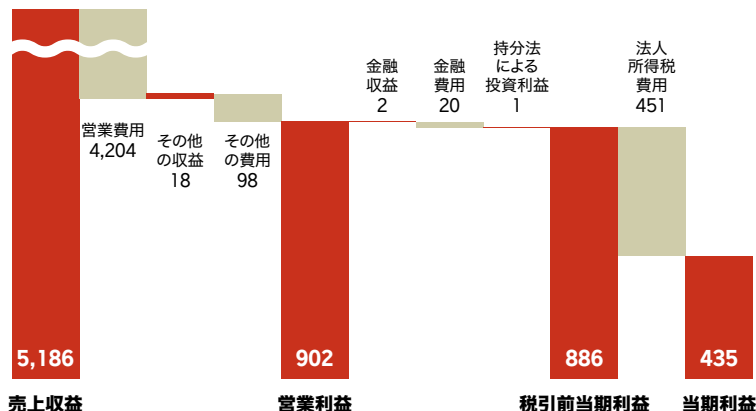
## 連結経営指標

(単位:百万円)

	第15期 2011年12月	第16期 2012年12月	第17期 2013年12月
売上収益	346,425	400,444	518,568
営業利益	644	50,055	90,244
税引前当期利益又は損失(△)	△1,185	49,106	88,610
当期利益	9,631	21,136	43,481
当期包括利益	4,107	31,574	67,881
基本的1株当たり当期利益(円)	6.08	15.59	32.60
希薄化後1株当たり当期利益(円)	6.06	15.56	32.41
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,222	104,687	1,485
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,260	67,440	30,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,405	△56,820	75,252

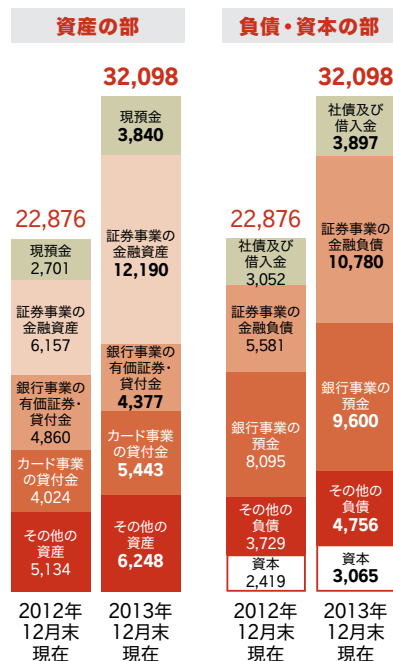
## 連結損益計算書 (2013年12月期)

(単位:億円)



## 連結貸借対照表

(単位:億円)



### Point!

**資産:** 活発な取引を背景に証券事業の金融資産が増加し、カード債権の増加でカード事業の貸付金が増加、個人ローンの増加で銀行事業の貸付金が増加しました。

**負債:** 株式の委託取引拡大等で証券事業の金融負債が増加し、銀行事業の預金が増加しました。

**資本:** 当期利益の増加、配当金の支払等で利益剰余金が増加しました。

## グループ概要

### 会社概要 (2013年12月31日現在)

会社名	楽天株式会社
設立	1997年2月7日
楽天市場開設	1997年5月1日
株式会社登録	2000年4月19日
東京証券取引所 市場第一部上場	2013年12月3日
資本金	1,095億円
本社	東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイド楽天タワー
従業員数	10,867名(連結)

### 役員 (2014年3月28日現在)

代表取締役会長兼社長 最高執行役員	三木谷 浩史	
取締役副会長執行役員	國重 博史	
代表取締役副社長 執行役員	穂坂 雅之	
	山田 善久	
取締役常務執行役員	小林 正忠	島田 亨
	杉原 章郎	武田 和徳
	百野 研太郎	安武 弘晃
取締役	Charles B. Baxter	
	草野 耕一 <sup>※1</sup>	久野良木 健 <sup>※1</sup>
	吹野 博志 <sup>※1,2</sup>	村井 純 <sup>※1</sup>
	Joshua G. James <sup>※1</sup>	
監査役	妹尾 良昭 <sup>※1</sup>	平田 竹男 <sup>※1</sup>
	山口 勝之 <sup>※1</sup>	

※1：会社法に定める社外取締役および社外監査役

※2：当社が上場している国内の金融商品取引所に届出している独立取締役

### 関連会社 (2013年12月31日現在)

連結子会社	93社
持分法適用会社	9社

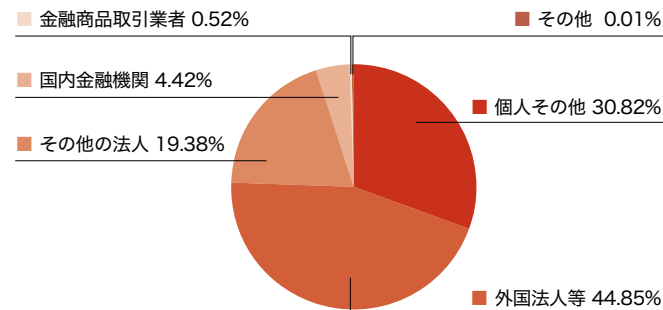
### 株式の状況 (2013年12月31日現在)

発行可能株式総数	3,941,800,000株
発行済株式の総数	1,323,863,100株
株主数	79,850名

#### 大株主

株主名	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
合同会社クリムゾングループ	226,419,000	17.10
三木谷 浩史	175,572,000	13.26
三木谷 晴子	132,625,000	10.02
JP MORGAN CHASE BANK 380055	57,990,726	4.38
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	36,275,895	2.74
マスタグアンドパートナーズ株式会社	27,461,000	2.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,451,900	1.92
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	24,337,900	1.84
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	23,427,710	1.77
JP MORGAN CHASE BANK 385164	19,991,600	1.51

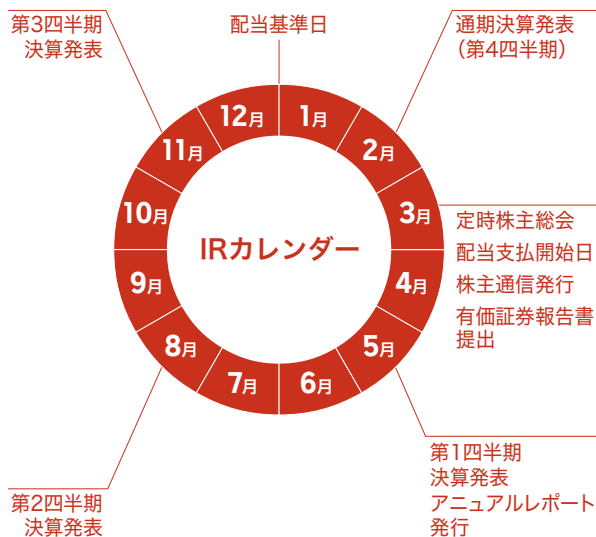
#### 所有者別分布状況



※自己株式は「個人その他」に含めております。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
単元株式数	100株
公告	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
・電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)



## 楽天株式会社

TEL.03-6387-1111 <http://corp.rakuten.co.jp/investors/>  
東京都品川区東品川4-12-3 品川シーサイド楽天タワー 〒140-0002